

第2節 “とちぎ”のかたち

1) “とちぎ”の可能性・潜在力

恵まれた県土

本県は、関東地方で最大の面積を有し、平たんな地形とも相まって、生活や産業活動の場としての土地資源に恵まれています。また、地震、風水害、土砂災害などの自然災害が少ないという特徴があります。

首都東京からは60～160kmに位置し、首都圏の一翼を担っており、東京の持つ世界有数の高度な機能や、首都圏の研究機能、国際機能等を積極的に活用したり、連携しやすい環境にあります。

また、東北縦貫自動車道、東北新幹線などが県を南北に貫き、東京から東北地方・北海道へと連なる軸上に位置しています。

そして、水資源や農林産物、エネルギー等の供給を通じて首都圏をバックアップする機能を果たしている福島県・茨城県・群馬県・新潟県などとの広域連携・交流の結節点にもなっています。

さらに、北関東自動車道の開通により、国内はもとより常陸那珂港などを介し、世界との結びつきが飛躍的に高まります。

このような恵まれた立地条件や地域資源を最大限に活用し、広域連携を強化することなどにより、一層発展していくことが期待されます。

豊かな自然環境

本県には、世界に誇る日光国立公園のほか、豊かな地域特性を持つ8つの県立自然公園があり、首都圏に位置しながら貴重で美しい自然が残されています。

また、日光、鬼怒川、那須、塩原をはじめとした我が国を代表する景勝地や温泉地など、やすらぎや憩い、癒しが感じられる観光資源にも恵まれています。

さらに、美しい山並みから清らかに流れる河川や、豊かな里山や田園が、四季折々に織りなす風景は日本の原風景でもあります。

本県は、関東平野を流れる河川の上流域に位置し、県土の55%を占める森林などの自然環境は、首都圏の水資源の確保や防災面でも大きな役割を發揮しています。

このような豊かな自然環境を守り育てていくことにより、やすらぎのある生活を実現するとともに、地球環境の保全にも貢献していくことが期待されます。

受け継がれていく優れた文化

本県は、古くは東山道が、江戸時代には奥州街道、日光街道などの主要街道が南北に通り、人や物が活発に行き交う地域でした。

そのため、世界遺産に登録された日光の社寺、我が国最古の総合大学であった足利学校、奈良東大寺や大宰府観世音寺と並ぶ日本三戒壇の一つであった下野薬師寺などに見られるように、文化や宗教の中心地の一つとして栄えてきました。

また、織物や陶器などの伝統工芸品や、伝統行事、伝統芸能など、本県の風土と県民の生活の中で生まれ、受け継がれてきている優れた文化や技は、私たちの暮らしや心を豊かにする共通の財産です。

このような地域が育んできた個性ある文化を継承・発展させるとともに、他の文化との交流や融合による新たな地域文化の創出などを通して、ゆとりと潤いに満ちた生活を実現し、地域を越えて文化を発信していくことが期待されます。

豊かな食料基地

本県は、豊富で良質な水や肥沃な大地、恵まれた気候などの条件を活かし、米麦・園芸・畜産など地域性豊かな農業生産を展開し、本県はもとより首都圏の食料基地として大きく貢献しています。

また、30年以上にわたって日本一の座にある「いちご」をはじめとして、味の良さで知られる「栃木米」など、全国で上位を占める農産物が数多くあります。

近年、食の安全・安心に対する消費者の関心が高まっています。こうした消費者のニーズに対応するため、エコファーマーの認定数が平成15年に全国第2位であることに代表されるように、消費者に信頼される農業の実現に向けた取組が進むとともに、消費者と生産者との交流や地産地消の輪も広がりを見せています。

このような恵まれた条件や特色を活かした農産物づくりを進めることにより、食料供給県としてさらに発展していくことが期待されます。

活力ある産業集積

本県は、豊富な土地資源と勤勉で優秀な労働力を背景として、昭和30年代後半から積極的な工業化政策を進めた結果、先端的な技術や研究開発機能を有する企業も立地するなど、国内有数の「ものづくり」県に成長し、平成15年の製造品出荷額等が全国第11位となっています。そして、近年では、情報通信関連企業やベンチャー企業など、創造性あふれる企業の立地や創業も進んでいます。

また、全国的に高い水準にある工業や農林業に加え、商業、観光・サービス業なども時代の変化に対応しながら着実な成長を遂げてきており、本県は多様な産業がバランス良く発達しています。

近年、経済のグローバル化や企業間競争の激化に伴って、労働集約型工場の海外移転や工場の集約化などが進んでいる中であって、本県では、県内への生産・研究開発などの機能の集約化や高度化を進める企業も見られます。

このような産業集積をもとに、知恵と技術を活かし、多様な連携を図りながら、新事業の創出や新分野への展開を進めることなどにより、付加価値の高い産業を創造していくことが期待されます。

社会を担う人材

本県の県民性は、「誠実」、「勤勉」であり、「まじめに仕事をやり遂げる人が多い」、「研究心も旺盛」、「人柄が良く、人情味がある」と言われており、本県を担う原動力になっています。

また、本県の活力ある産業や豊かな自然環境等を背景として、県外から多くの人に移り住み、多方面で活躍しています。

本県の人口構成は、全国的に高齢化が進む中であって、平成15年の平均年齢が全国でも12番目に若く、活力のある県と言えます。

また、近年では、県内に大学の立地が進むなど、若い有能な人材を育む環境も整備されつつあります。

本県にとって、これからの最大の財産は、「人材」であり、その「人材」を育む風土・社会です。

そして、県民一人ひとりが自立し、能力を最大限に活かして地域社会の一員としての役割と責任を担うとともに、“とちぎ”から日本全国、そして世界に貢献していくことが期待されます。